

鈴木 寛 (兵庫教育大学教授)

データと情報 (2)

携帯電話の登録台数が一般家庭加入電話を上回って5000万台にもなっているそうです。一人で2台以上持っている人もいますから国民の半分が持っているわけではないでしょうがもの凄い普及率です。あの電話の話す「内容」が「情報」で「信号」が「データ」とであるという言い方もできますが、話の中身を構成する音声や文字が「データ」なのです。そして、今のハイテク電話は留守電はおろかファックス機能や電話帳機能や着メロ等のデータ管理機能を持つようになったのです。

さて、12、3年前のパソコン(多分そのころはパソコン即ちパーソナルコンピュータではなく、マイクロコンピュータを意味するマイコンと言うのが一般的でした)はピープ音が少し発達してピープ音だけで単旋律が演奏できるようになっていました。鳴らすためのコマンドはBASICのミュージックマクロで「PLAY C1,D#,E,」等とプログラムしたものです。音符の長さは全音符がL1、4分音符がL4、8分音符がR8等のコーディングを使いました。

例えば「お馬の親子」はPLAY"L404EGGGAGGG AO5CCDCO4AG2O5CCO4AGAAAGEGE8E8GE8E8DDC2"で、今の携帯電話の着メロならちょっと読み替えればこのデータは使えるのですが、当時のマイコンでは最初の「ミソソソラソソソ・・・」が「ミソーラソー・・・」とになって同音が連続すると一つの音のようになってしまったのです。

それは当時「デュレーション」つまり音が鳴っている間の「ゲートタイム」が100%に設定されていたのと音にエンベロープ(時間軸に沿った音量や音色の変化)がピープ音には設定されていなかったことが原因なのです。現在の携帯電話の着信音もピープ音のものは、着メロ使用を意識してデュレーションを80%くらいに設定してあります。このようなノウハウも含めて若干の進化もありますが、いま着メロの文化は一昔前のマイコン時代真っ盛りなのです。

そして遂に2声の着メロから16声まで対応の機種が現れました。多声化することで和声や対旋律等の情報を持たせることができますので、情報量はかなり増えますが、その分データ量も増えることは言うまでもありません。

私の携帯電話の着メロはコダーイの「ハーリヤーノシュ」の中の有名な「ウィーンの音楽時計」にしています。世界中で多分私だけがこの曲を着メロにしているでしょう。と言うようにこの着メロは5000万台もある

携帯電話がみんな同じようなピープ音だったため、乗り物の中であの音を聞いて思わずポケットを押さえたり、バッグをのぞき込むことや、テレビの中であの音が鳴るシーンで反射的に反応してしまう恐怖から逃れるために開発されたアイデアなのです。

あのみんな同じ顔に見える「ガングロのねえちゃん」でさえも着メロの曲はみんな変えてあるそうですから面白いものです。

そこで、自分だけの着メロを設定したい彼女たちはどうしているのでしょうか。

私の知っている彼女達はプリセットされている着メロの中から仲間と違う曲を選んだり、ある番号に電話することで新曲をダウンロードしたりしています。それでもどんどん出る新曲にあわせて着メロを変えてゆくと終いに今自分の着メロが何なのかを忘れてしまっていて鳴っているのに無視してしまうことがあるそうです。

同じ曲でも調を変えたら多少は人と違うように聞こえるでしょうが、殆どの携帯の音域は2オクターブ程度ですし内蔵データに手を加えることが可能な機種は殆どありません。

それでは彼女たちはどうすればよいのでしょうか。そこで登場するのが「着メロ曲集」です。1曲60音程度までというハード的な制限もありますからそんなに長い曲はありません。テンポは138程度が最速のようですから細かい音符の連続もあまりありません。それに殆どの機種は三連符が使えません。強弱を指定することは出来ません。レガートやスタッカートも指定できません。そして殆どの機種は単旋律しか扱えません。

音源がピープ音であるかぎりこの制限は付いてまわりますのでやりたくてもこれ以上のことはできないのです。そうです。着メロこそは彼女たちに唯一出来る個性的な表現なのです(ちょっとオーバー?)

何も作曲できない人のためにその電話の番号をコード化した着メロもあります。つまり1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, をド、レ、ミ、ファ、ソ、ラ、シ、ド↑に置き換えるもので0は通常タイとなります。9は休符になっているようです。世界に一つしかないオリジナル着メロはこれです。しかし殆どの携帯番号の頭は0903等の090ですからタイから始まるデータは入力出来ませんので頭の0はとっておきましょう。同じように生年月日や銀行のカード番号などを旋律化しておくとは違う着メロになるでしょうがお勧めできません。